

【開催主旨】

木曾川上流河川事務所管内における施設能力を上回る洪水に対応するため、沿川の自治体や県、国等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するための方針を決定することを目的として開催した。

【開催概要】

- 日 時：平成28年8月29日（月）
会 場：岐阜県水産会館 1階会議室
出 席：瑞穂市長、江南市長、養老町長、輪之内町長、大野町長、池田町長、
北方町長、坂祝町長、岐阜市、大垣市、関市、美濃市、羽島市、美濃加茂市、各務原市、可児市、山県市、本巣市、郡上市、海津市、
岐南町、笠松町、神戸町、安八町、揖斐川町、一宮市、稲沢市、犬山市、扶桑町、岐阜県大垣土木事務所長、岐阜県揖斐土木事務所長、
岐阜県可茂土木事務所長、岐阜県美濃土木事務所、岐阜県郡上土木事務所、愛知県尾張県民事務所、愛知県一宮建設事務所、岐阜地方
気象台長、名古屋地方気象台、水資源機構中部支社事業部長、木曾川上流河川事務所長
- 議 事：①木曾川上流の減災に係る取組方針（案）について
②今後のスケジュール（案）について
③意見交換
- 決定事項：「木曾川上流の減災に係る取組方針」が承認された。
次回協議会：次年度開催される期成同盟会と合わせて、協議会を開催予定。



第2回木曾川上流水防災協議会の開催状況



- 【養老町長】
- ・ 広域での避難計画を検討しないとイケない。
 - ・ 台風時は行政放送、広報車の音も聞こえず、住民への情報伝達方法が難しい。
 - ・ 多数ある農業用排水機場が老朽化し課題。



- 【坂祝町長】
- ・ CCTVカメラの映像は、夜見えにくい。
 - ・ CCTVカメラで橋脚などの水位表示が確認できるように改善していただきたい。



- 【瑞穂市長】
- ・ 限られた圏域だけではなく、広域での避難計画を検討しないとイケない。



- 【輪之内町長】
- ・ 発生する災害の規模を把握し、共通の認識を持つ必要がある。
 - ・ 住民への情報提供は、メールやHP等の取りに行く手法ではなく、テレビのように見れば良いものとしてほしい。

岐阜新聞 平成28年8月30日（火）
朝刊 28頁 地域総合版

避難情報の伝達強化
木曾川上流 水防協 減災対策決める

昨年の関東・東北豪雨を受け、関や奥、木曾三川流域の24市町などで立ち上げた「木曾川上流水防災協議会」の第2回会合が29日、岐阜市藤田南の県水産会館であった。

木曾川上流河川事務所管内の河川の減災対策に関する取り組み方針を議論。堤防整備や河道掘削などハード面の対策に加え、住民の避難に関するソフト面は、同豪雨で多くの住民が逃げ遅れたことを踏まえ、洪水被害の長期化が問題となるため、排水計画の策定や排水訓練実施などを盛り込んだ。

各市町村からは「自治体の枠を超えた広域避難の取り組みも考えてほしい」「避難が必要な住民に確実に情報が伝わる仕組みづくりが重要」などの意見が出された。

（根尾文徳）

中日新聞 平成28年8月30日（火）
朝刊 16頁 岐阜県版

水害防止へ計画合意
今後5年 木曾川上流水防協

木曾川上流水防協 動計画タイムライン 協議会が二十九日、岐阜市 策定に今後、五年間で市数田南の県水産会館 取り組むことと合意して開かれた。長良川、た。

協議会は昨年九月の川の大規模水害に備え、堤防強化に加え、茨城県の鬼怒川氾濫を受け、岐阜と愛知両県、名古屋の両地方気象台、両県の土木事務所の大沢健治事務所と話しした。

（高橋貴士）

所などで発足した。国土交通省木曾川上流河川事務所が主催する。第二回会合の今回は約八十人が出席した。住民の主体的な避難を促す取り組み▽生命と財産を守る水防活動の一環として、河川の氾濫の記憶が残っているこの時期に、行政などが対策の強化を方針の三本柱に決め、今後の進め方が大切。万が一の事態に備えたい。

木曾川の水害対策について意見交換する出席者＝岐阜市の県水産会館で